

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	国際バカロレア事業への拠出		担当部局庁	大臣官房国際課		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度		担当課室	国際課企画調整室		企画調整室長 佐々木 亨		
会計区分	一般会計		施策名	XⅢ-1 国際交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国際交流政策懇談会 最終報告書(平成23年4月21日) グローバル人材育成推進会議 中間報告(案)(平成23年6月グローバル人材育成推進会議幹事会)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国際バカロレア事業への日本の立場を明確にするとともに、日本における高等教育機関等の国際化の推進に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国際バカロレア機構は、インターナショナルスクール等のバカロレア認定校の卒業生に、国際的に認められる大学入学資格である国際バカロレア資格を与え、大学進学へのルートを確保するとともに、学生の柔軟な知性の育成と国際理解教育の促進に資することを目的として、認定校に対する共通カリキュラムの作成などを行っている。日本の拠出金は、日本における高等教育機関等の国際化の推進等のため、以下の事業に活用されている。 ○国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教材等の日本語への翻訳 ○日本におけるワークショップやシンポジウムの開催 等							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	3	3	3	3	9	
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	0	0	0	0		
	執行額	3	3	3	3			
	執行率(%)	100	100	100	100			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(27年度)
	日本における国際バカロレア認定校数		成果実績	校	14	17	19	50
			達成度	%	28%	34%	38%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	国際バカロレア資格試験の日本における受験者数		活動実績(当初見込み)	人	206	234	238	(-)(-)
	国際バカロレア資格の日本における取得者数		活動実績(当初見込み)	人	184	213	211	(-)(-)
	シンポジウムの開催		活動実績(当初見込み)	回	1	1	1	(1)(1)
	国際バカロレア認定校教員向けワークショップの開催		活動実績(当初見込み)	回	1	0	1	(1)(-)
単位当たりコスト	157千円/1校		算出根拠	単位当たりコスト=平成22年度執行額/国際バカロレア認定校数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	拠出金	3百万円	9百万円					
	計	3百万円	9百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・国際バカロレア機構から提出される前年度の収支報告書及び次年度の事業計画書を確認するとともに、年1回開催される国際バカロレア教育シンポジウムに参加することにより、状況把握に努めている。</p> <p>・国際バカロレア機構は、国際バカロレア資格(国際的に認められている大学入学資格)を与える業務のほか、共通カリキュラムの作成等を実施している。現在は、いわゆるインターナショナルスクールのみならず、学校教育法第一条に該当する学校(以下、「一条校」と言う)の加盟校についても増加している状況(平成23年8月現在、日本における国際バカロレア認定校19校中5校が一条校)。</p> <p>・一条校を含めた国内の関係機関に対して情報提供を図るため、国際バカロレアについて日本語での概要を文部科学省のホームページにも掲載した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>1. 事業評価の観点:この事業は①国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教材等の日本語への翻訳、②日本におけるワークショップやシンポジウムの開催等により、国際バカロレア事業への日本の立場を明確にするとともに、日本における高等教育機関等の国際化の推進に資することを目的として国際バカロレア機構へ拠出金を支出しているものであり、今回、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:国際バカロレア機構の分担に基づく、日本における高等教育機関等の国際化の推進等のために必要な事業であることから、現行において特段の見直す点は認められず、現在の事業内容を引き続き維持すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国際バカロレア事業への拠出

文部科学省
3百万円

【拠出金】

A.国際バカロレア機構
3百万円

国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教材等の日本語への翻訳、日本におけるワークショップやシンポジウムの開催等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A. 国際バカロレア機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	国際バカロレア事業の運営に必要な経費	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国際バカロレア機構	国際バカロレアのカリキュラムの開発及び教材等の日本語への翻訳、日本におけるワークショップやシンポジウムの開催等	3-	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					